

# 留学体験レポート

国際文化学部 宮川陽太

## 1 はじめに

これから今回のアメリカ留学での出来事や自分がその時に感じたことについて書いていきたいと思います。

## 2 アメリカでの生活

研修期間中は大学の寮に日本人 2 人で 1 つの部屋を借りて生活をしていました。部屋は 2 人分のベッド、机、クローゼットが用意されていました。バスルームはトイレと一緒にっており、スイートメイトと共用になっています。食事は基本学食で、学内には 3 つの食堂がありました。学食はバイキング制でメニューの中から自分のほしいものを頼みます。大学内には食堂のほかにもハンバーガーショップやピザ屋があったので食堂の食事に飽きたときに利用していました。また、洗濯機は地下の共同スペースにありました。洗濯機の数に限られているので夜間は人が殺到しています。なので、昼間に洗濯するのがおすすめです。

## 3 アメリカの授業

クラスは 4 つのクラスで分かれており、私のクラスは生徒が合計 6 人ほどの少人数のクラスでした。その分、クラスに溶け込むのにそんなに時間はかからずクラスメイトと少しずつ喋れるようになりました。Session2 からは Session1 の成績が認められて 1 つ上のクラスで授業を受けることになりました。新しいクラスでの勉強は難しい部分もあったが、それと同時にやりがいも感じました。また、クラスメイトには韓国人やサウジアラビア人がおり、彼らの話を聞いたり会話したりすることでそれぞれの国の文化について教わることができました。

## 4 Thanksgiving break

約 1 週間の連休でした。連休中は食堂が閉まっていたので寮にいる日は夕ご飯をホストファミリーの方々の家でご馳走になったりしました。日にちごとに違うホストファミリーの家にお邪魔していろんな料理を食べたり、話をすることができました。どの家の方々も優しく接してくださり、とても楽しい時間を過ごせました。

また、セントルイスへ 2 泊 3 日の旅行にも行ってきました。セントルイスでは動物園に行ったり、ショッピングモールで買い物したり観光を楽しみました。一生に一度しか味わえないような贅沢な旅行でした。

## 5 おわりに

この留学は忘れることのできない一生の経験になりました。これからはこの経験を少しでも活かし今後の勉学や生活に生かしていきたいと思います。

もしも留学に迷っているのなら、私はぜひ思い切って参加してほしいと思います。日本では決して経験できないことがアメリカにはあると思うからです。

最後に、今回の留学において、セントラルミズーリ大学で懇切丁寧に指導してくださったスタッフの方々、ホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました。